

令和6年度 市政アンケート調査 第5回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民644人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和6年4月8日から令和7年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第5回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和6年10月7日から10月21日まで
- (2) 調査対象者数
- 636人
- (3) 回答者数
- 544人
- (4) 有効回答率
- 85.5%
- (5) 調査テーマ
- ①「熱中症対策」について
 - ②「がん検診」について
 - ③「家庭ごみ」について
 - ④「福岡市の行政運営の取り組み」について

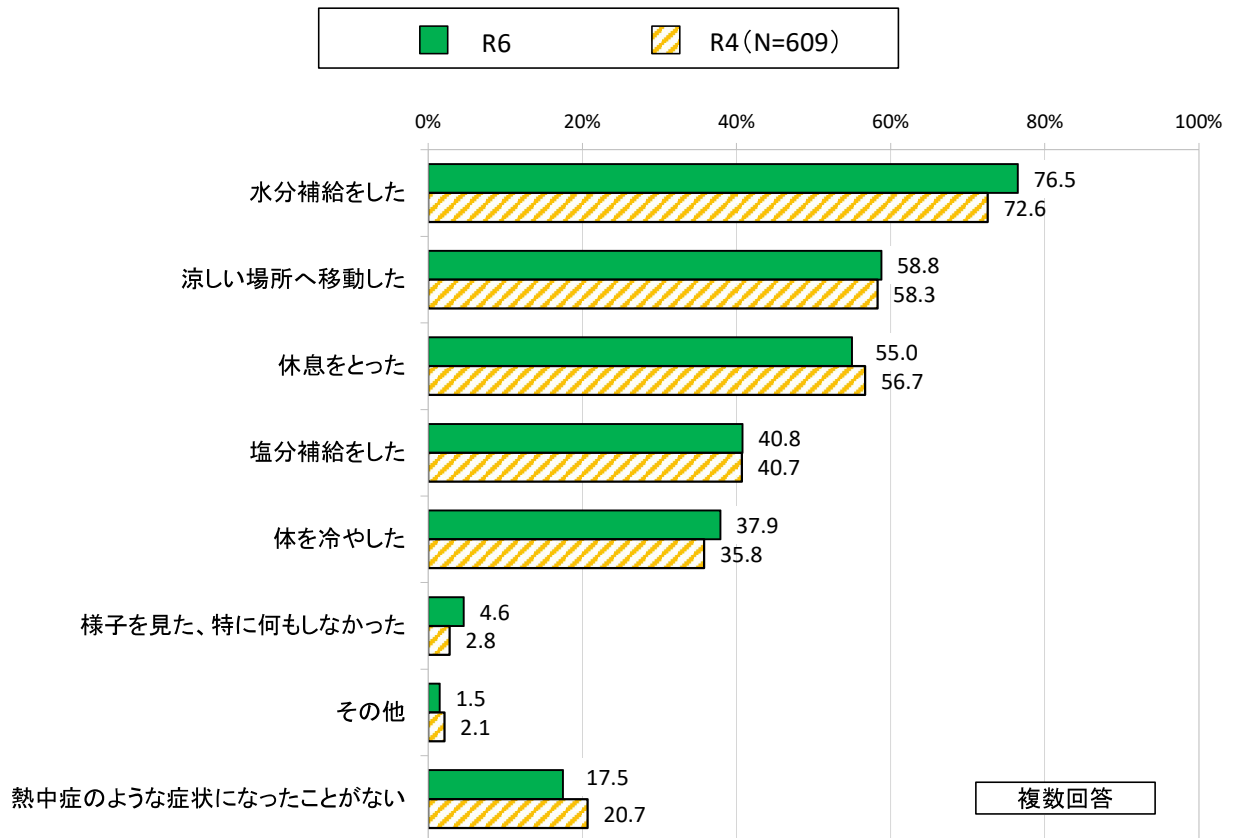
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

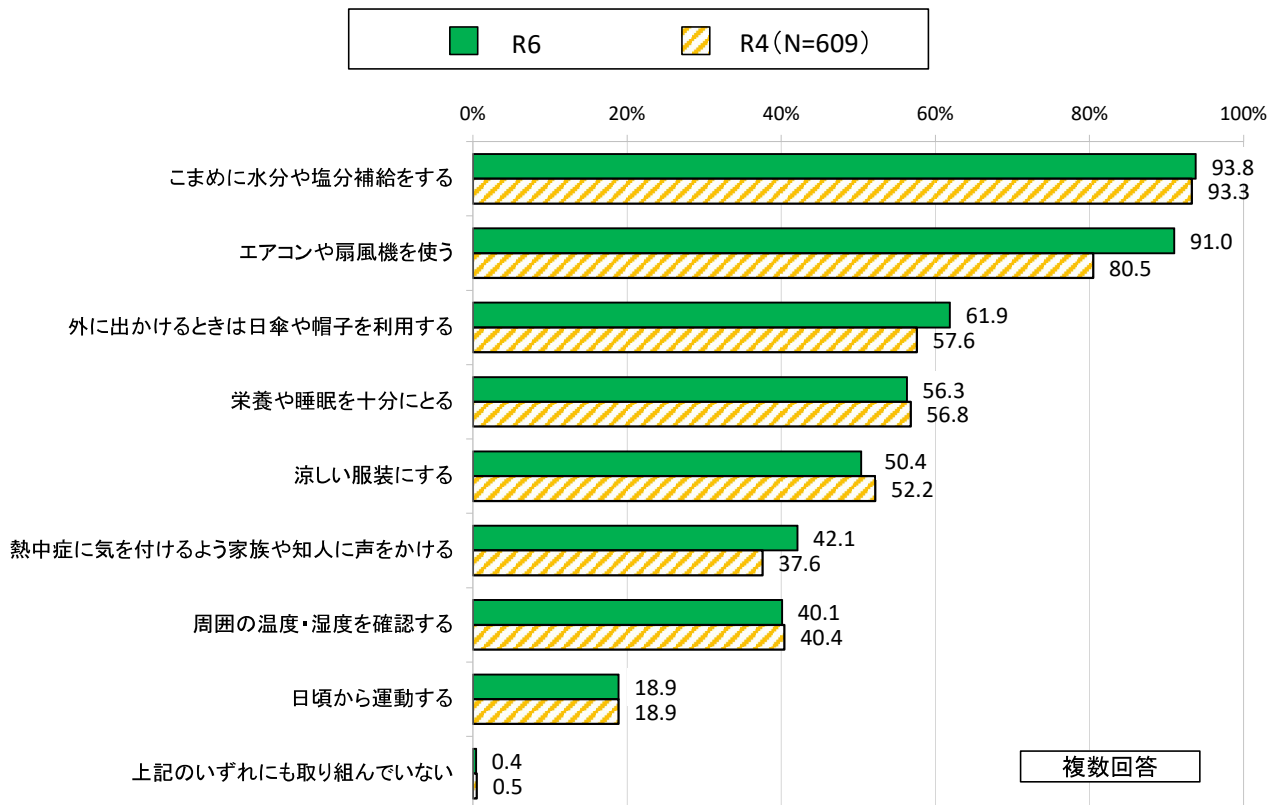
①「熱中症対策」について(N=544)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
 例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

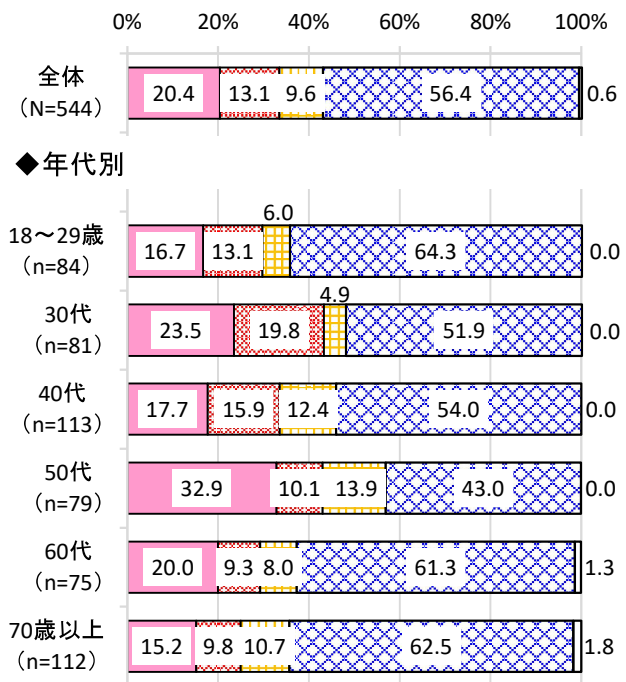
《熱中症になったかなと思ったときにとった行動》



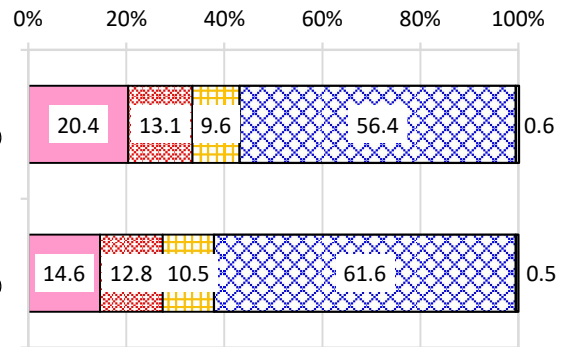
《熱中症対策として取り組んでいること》



《福岡市公式LINE(ライン)・福岡市防災メールで熱中症情報が配信されていることの認知度》

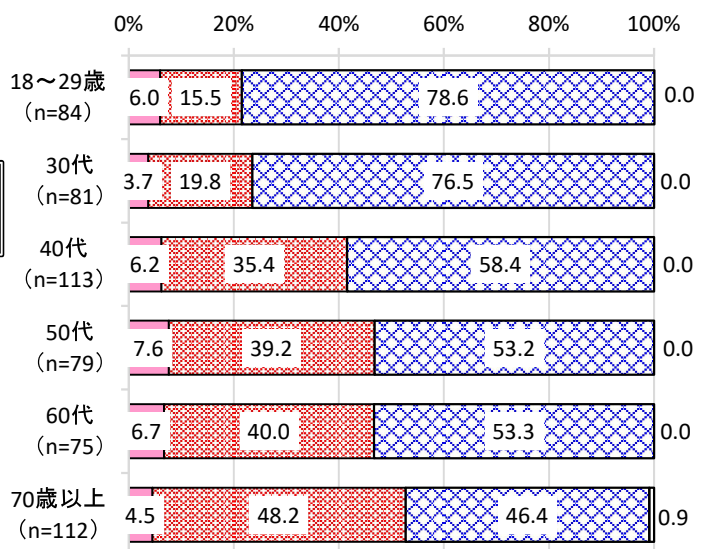
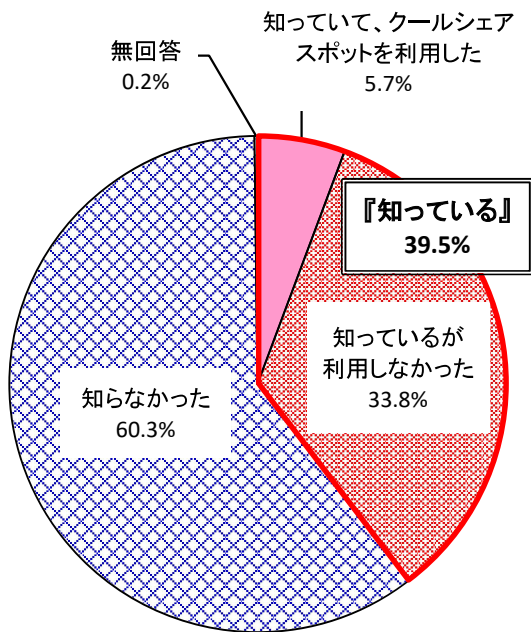


◆R4年度調査との比較



福岡市公式LINE(ライン)・福岡市防災メールのどちらかを「知っている」と回答した方は、令和4年度の調査と比較して、5.2ポイント増加しました。

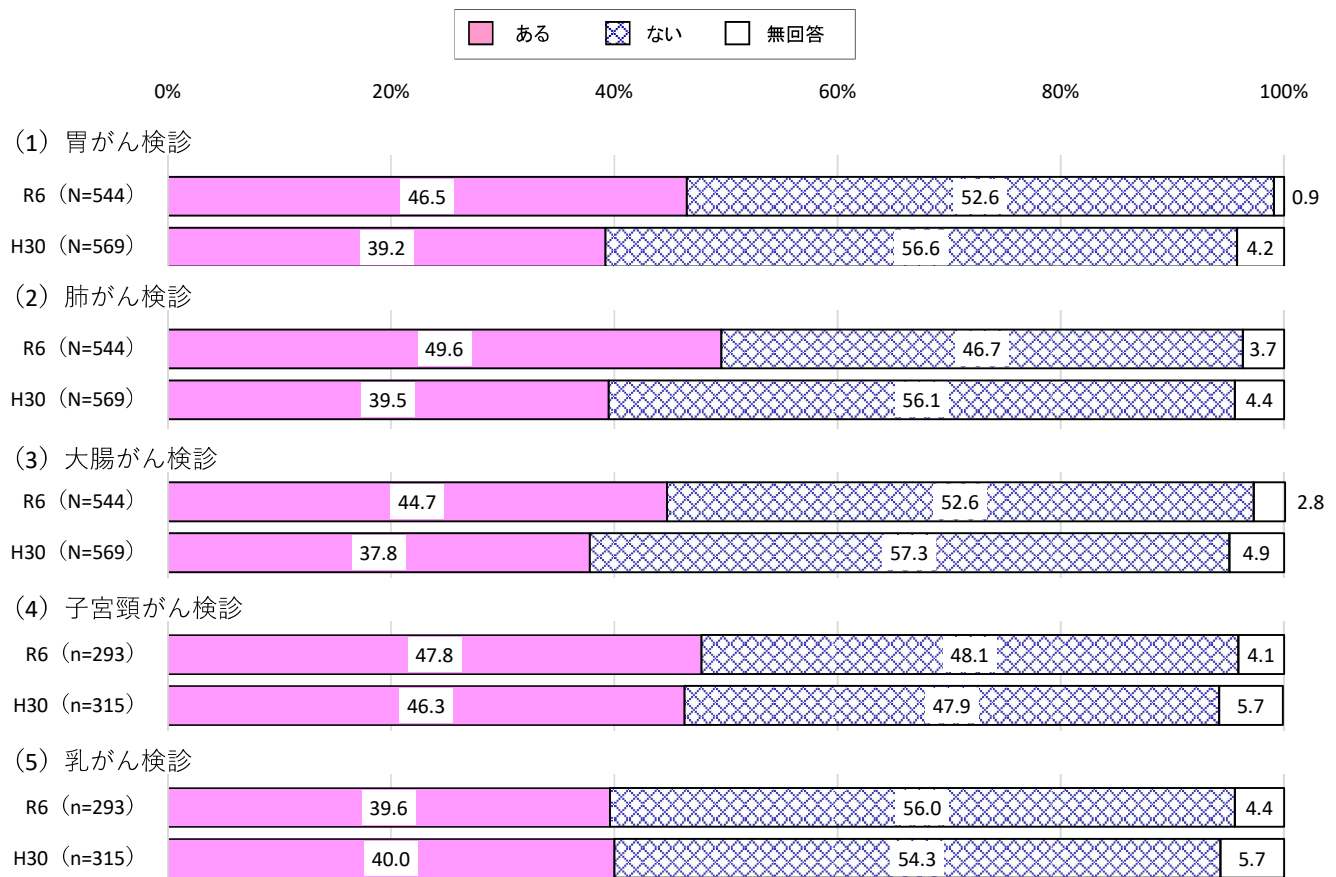
《「クールシェアスポット」の認知度》



『知っている』と回答した方は全体の39.5%となりました。年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて、『知っている』と回答した方の割合が高くなっています。

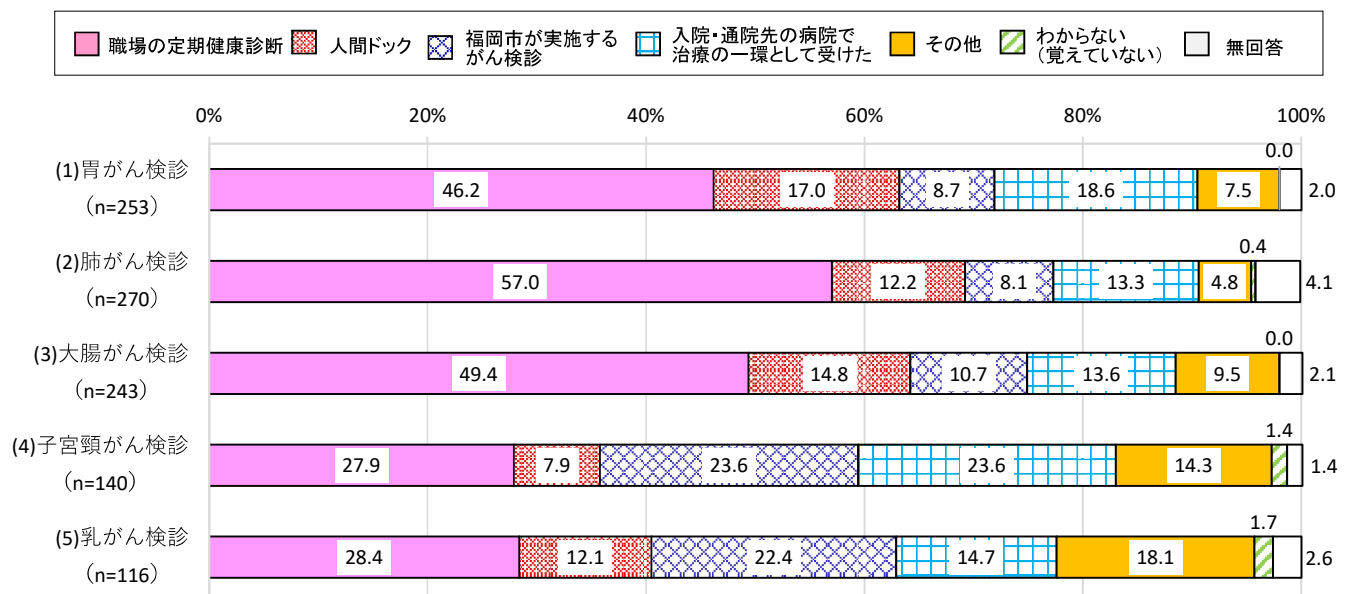
②「がん検診」について(N=544)

《がん検診の受診の有無》 ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。



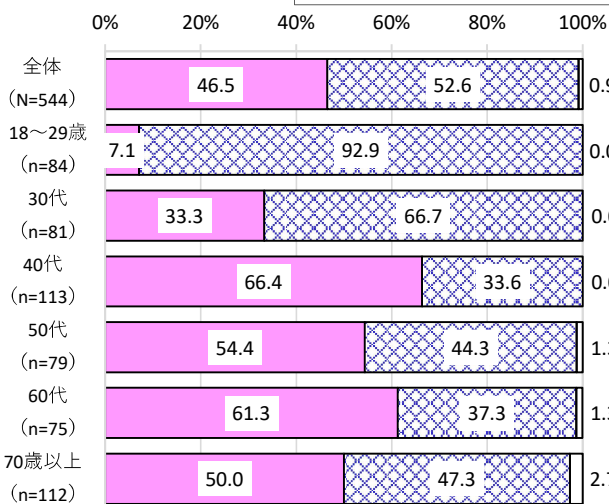
胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診については、平成30年度の調査と比較して、受診したことが「ある」と回答した方が増加しました。

《がん検診の受診方法》 ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。

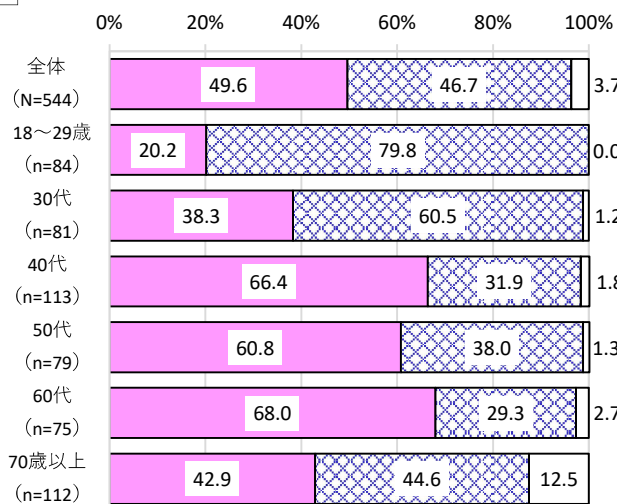


《がん検診の受診の有無(年代別)》 ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。

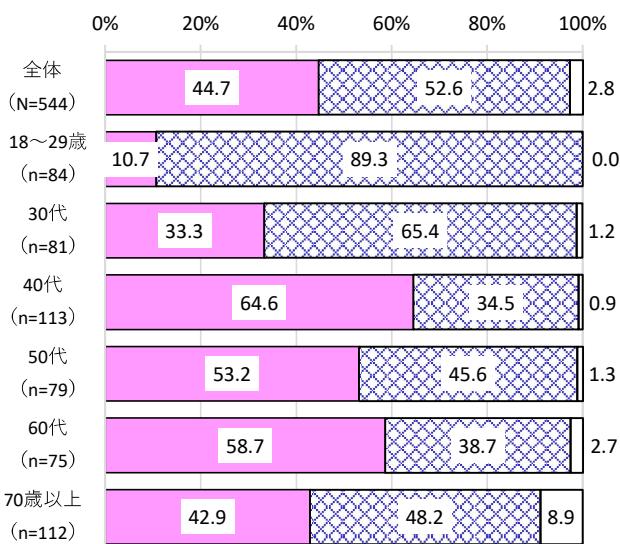
(1) 胃がん検診



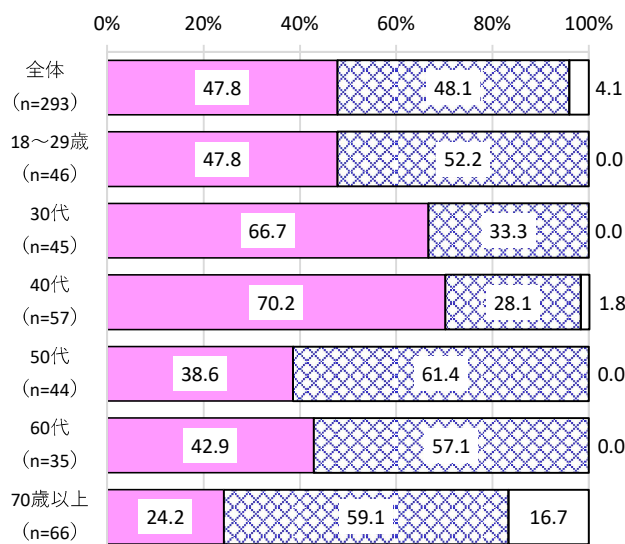
(2) 肺がん検診



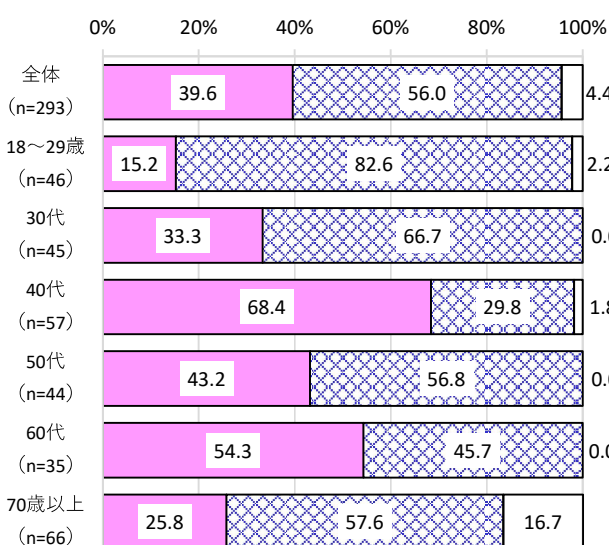
(3) 大腸がん検診



(4) 子宮頸がん検診



(5) 乳がん検診



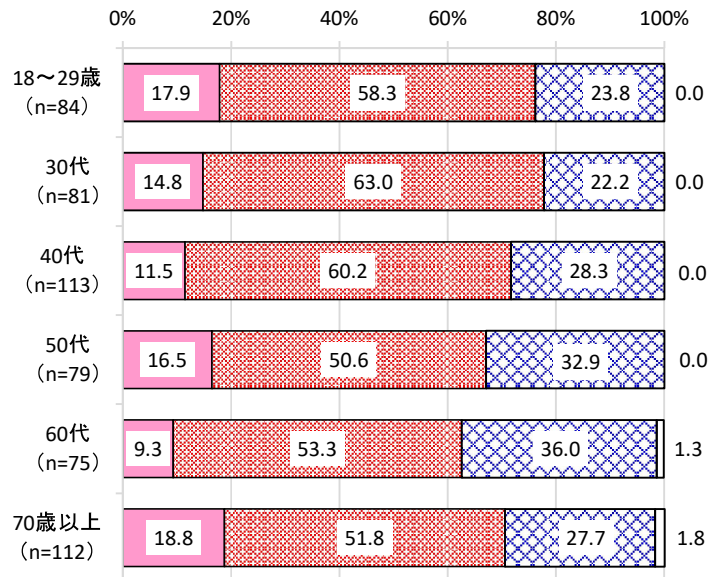
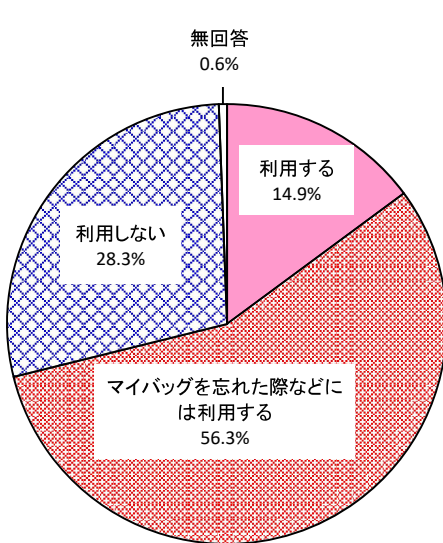
福岡市のがん検診
(職場等で受診する機会がない福岡市民が対象)

検診名	内容	対象
胃がん	バリウムによる胃透視	40歳以上
	内視鏡検査(胃カメラ)	50歳以上(今年度偶数年齢になる人)
大腸がん	2日間採便による便潜血検査	40歳以上
肺がん	胸部X線撮影	40歳以上
子宮頸がん	子宮頸部粘膜の細胞診	20歳以上の女性(2年度に1回)
乳がん	マンモグラフィ	40歳以上の女性(2年度に1回)

③「家庭ごみ」について(N=544)

◀家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋(ふくレジ)※を利用するか▶

利用する
 マイバックを忘れた際などには利用する
 利用しない
 無回答



※ふくレジとは

近年、レジ袋の有料化を受けてマイバッグの普及が進む一方で、プラスチックごみの1つであるレジ袋がいまだに福岡市内で年間2,600トン(1人あたり年間約160枚)捨てられていることから、福岡市内でごみ出しに使えるレジ袋「ふくレジ」を発売開始しました。ご使用いただくことで、レジ袋1枚分のプラスチックごみ削減&節約に繋がります。

○販売場所: 福岡市内のコンビニエンスストア、スーパー、薬局など1,000店舗以上

○価格: 可燃用指定ごみ袋(小)15L 1枚15円 / (特小)10L 1枚10円

(10L) 10円
(15L) 15円

デザイン作成:
イフクカズヒコ

FaN
Fukuoka Art Next

**福岡市内で
ごみ出しに使えるレジ袋**

\マイバックをお忘れの際に/

① 店内で
ふくレジを購入

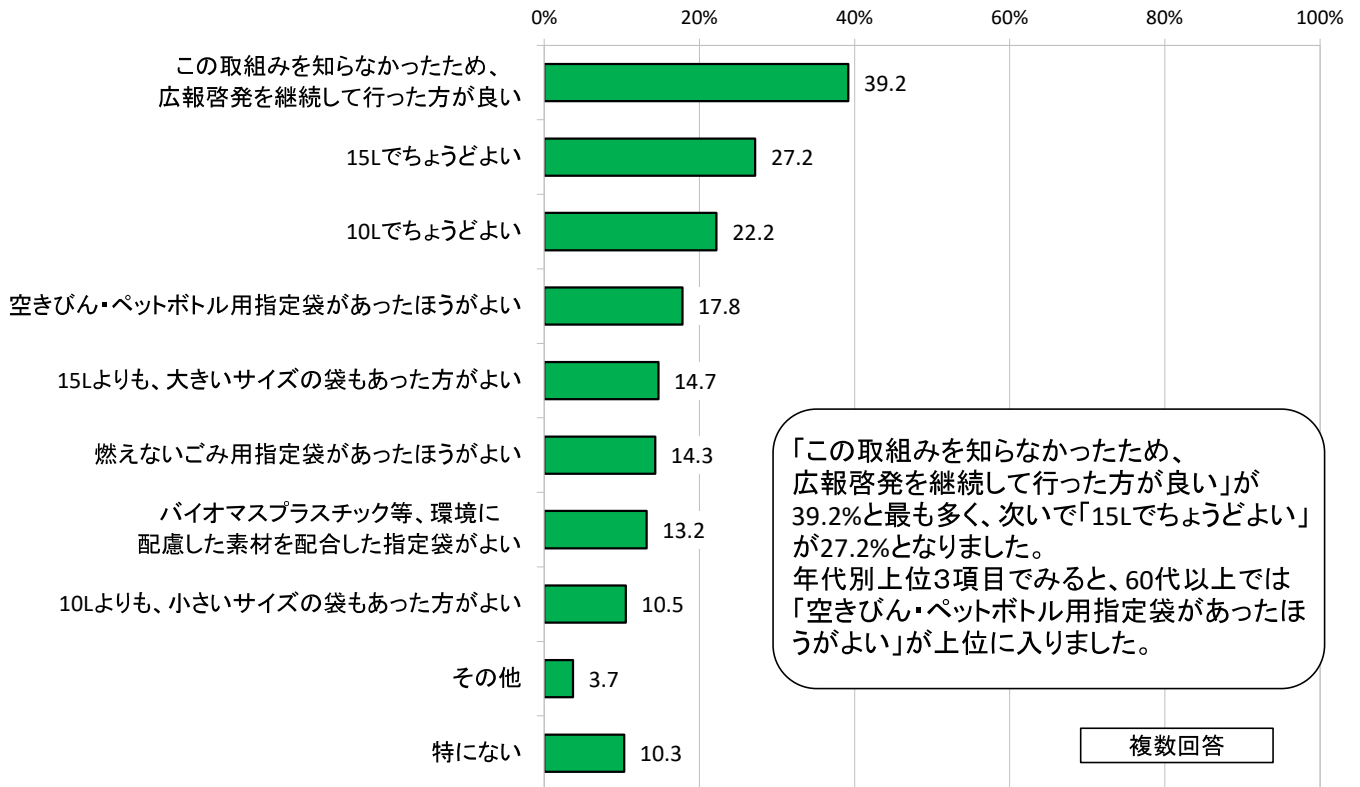
② 商品を入れて
お持ち帰り

③ ご家庭で
ごみ袋として使用

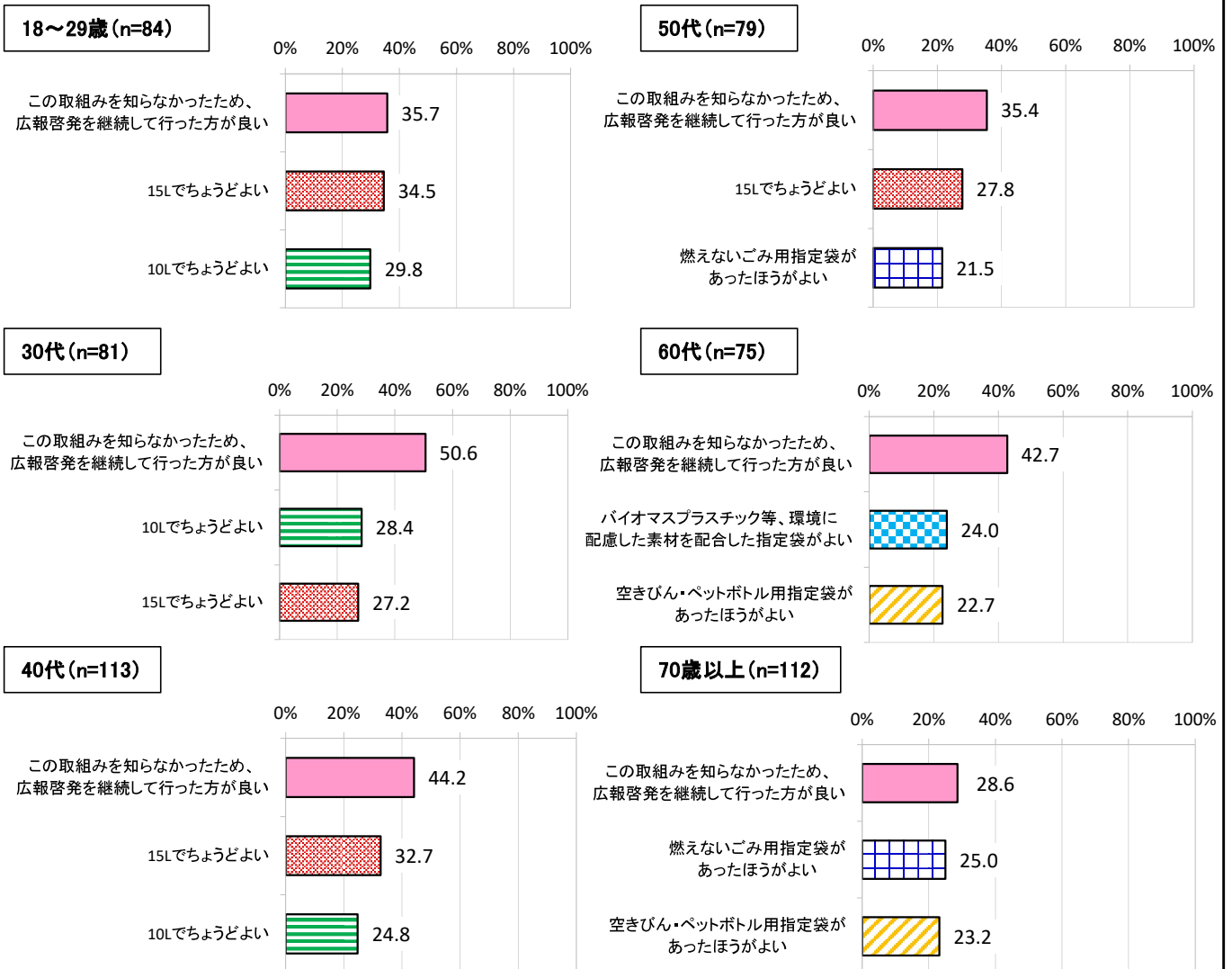
④ そのまま
ごみ出しOK

ふくレジ発売中

《家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋(ふくレジ)について、どのように感じるか》

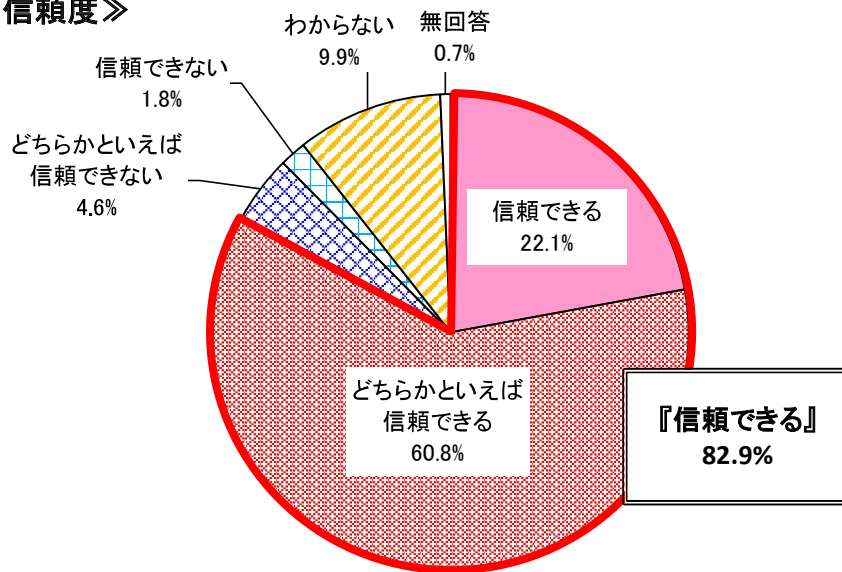


◆年代別上位3項目



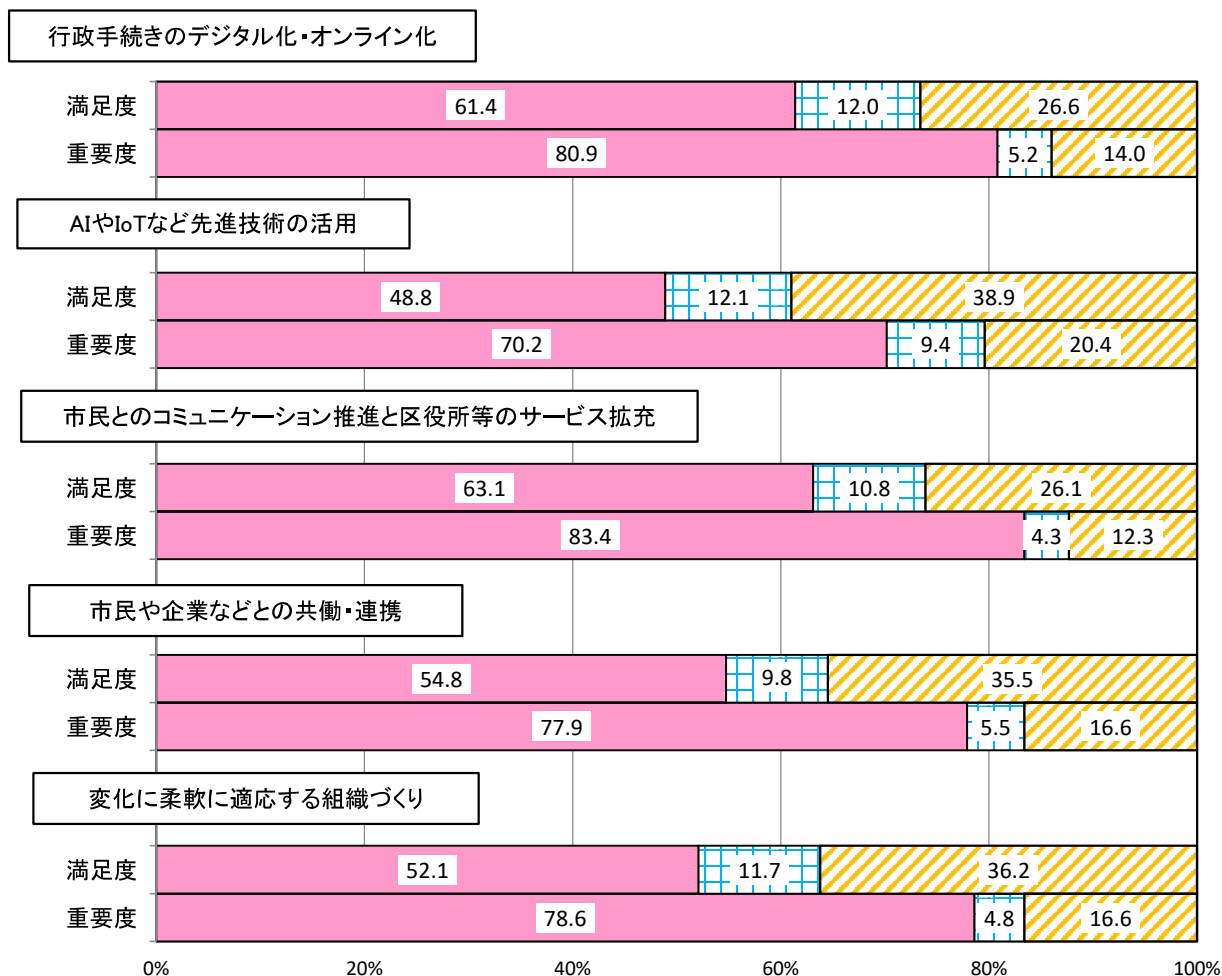
④「福岡市の行政運営の取り組み」について (N=544)

《福岡市政への信頼度》



《「効果的・効率的な行政運営」の取り組みについての満足度・重要度》

■ 『満足』・『重要である』
 ■ 『不満』・『重要ではない』
 ■ わからない・無回答



満足度は「市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充」が63.1%と最も高く、次いで「行政手続きのデジタル化・オンライン化」が61.4%でした。重要度も「市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充」が83.4%と最も高く、次いで「行政手続きのデジタル化・オンライン化」が80.9%となりました。